

No.64  
シリーズ 防災安全

知っていますか？  
AEDの使い方



AEDが現場に到着したら・・・

①電源を入れる

・非常時には普段感じるのではない緊張感や焦りが生じます。落ち着いて電源を入れてください。

・AEDにはさまざまな種類があり、電源ボタンを押すものや、カバーを開けると自動的に電源が入るものがあります。

②音声メッセージ通りに行動する

・電源を入れると、使用方法が音声メッセージで流れます。  
・音声メッセージは機種により異なりますが、指示通りに行動してください。

この2点だけをしっかりと行うことができれば、医療知識が少ない方でも簡単にAEDを使用できます。

しかし、もし救急の現場に自分が居合わせたとしたら、みなさんは本当に行動できますか？最後に付け加えるならば「勇気を持ち行動する」ということも、AED使用において非常に重要なポイントであるとお伝えします。

No.64  
シリーズ 包括支援

楽しく認知症予防

12月の予定

<お元気サロン>

8日 22日(木) 午前9時30分～11時30分  
ところ:福祉センター(申し込みが必要です)

<こころの相談>

12日(月) 午後1時30分～3時30分  
ところ:保健センター(予約が必要です)  
※のぞみの丘ホスピタルの精神保健福祉士が個別に対応し、秘密は厳守します。

<高齢者あんしん相談会>

13日(火) 午後1時30分～3時30分  
ところ:福地出張所(予約が必要です)

<オレンジカフェ>

15日(木) 午前9時30分～11時30分  
ところ:福祉センター  
※認知症について何でも話せるカフェです。

こんにちは！地域包括支援センターです



10月11日(火)に「第3回オレンジカフェ」を喫茶まるまで開催しました。今回はのぞみの丘ホスピタルの医師の森藤先生と理学療法士の中津先生をお招きし、認知症予防とコグニサイズについてご講話いただきました。当日は33名の方が参加してくださり、認知症の理解と予防への関心の高さがうかがえました。

みなさん先生方の話を聞きながら、真剣にメモをとり、また認知症予防方法の一つであるコグニサイズと一緒に身体を動かしました。講話後のアンケートでは、「認知症の話がすごく良かった」「家に帰って家族に教えたい」「諦めずに頑張りたい」という声がありました。認知症は誰でもなり得る病気であることを理解されたとともに予防についても関心を持つ機会となり、気持ちが前向きになった方もいたようです。

地域包括支援センターでは、オレンジカフェが認知症の方やその家族が集える場になるとともに、認知症に悩める人に寄り添えるカフェとなるようにと今後も取り組んでまいります。次回は12月15日(木)に福祉センターで開催を予定しています。ご参加をお待ちしております。

◆お問い合わせ◆

地域包括支援センター  
直通 433267  
代表 432111

(内線2566・2567)

